

評価担当者	課名	氏名	内線
	社会教育課	斎藤 隆生	7410

コード	I-2-6	施策名	親育ち・家庭教育の推進
施策の方針	子育てしやすい環境を整える		
まちづくりの方針	生活の土台を築き、笑顔あふれる市民が暮らすまち(健康福祉)		
施策の目的	核家族化・少子化・高齢化が進み、相談相手や支援者に恵まれない親子も増える中、親としての自覚と意識を持ち、子育てについての必要な知識や技術・心構えを学べる環境や、子育てに対する「喜びや楽しみ」「不安や悩み」などについて子育て仲間できちんと分ち合うことのできる環境の充実を図ります。親や祖父母が自信を持って自らの経験や知識を子や孫へ伝え、生きることを学ばせる子育てを推進します。		
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て総合支援センターちあぼーとや公民館において子育て・孫育てのための支援を行います。 ・公民館や学校・幼稚園や保育所で家庭教育学級(親育て)を実施します。 ・家庭教育学級や子育て支援に関心のある人を育成し、組織化します。 		

<指標>

新規指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移						H31目標値 上段:当初 下段:現在
			単位	H26	H27	H28	H29	H30	
家庭教育学級など親育ちの為の学習の場・団体の数	公民館・学校等での家庭教育学級(団体)の数	目標	箇所	26	28	28	29	30	
		実績	箇所	25	28	30	28	32	
		達成率	%	-	107.7%	107.1%	100.0%		
子育て中の親同士の仲間づくりや情報交換の場の数	親子で参加できる教室やサークルの数	目標	箇所	71	75	75	85	75	
		実績	箇所	70	80	81	84	85	
		達成率	%	-	112.7%	108.0%	112.0%		
子育てに関する相談件数	子ども・子育て総合支援センターの相談者数	目標	件	500	1,500	1,600	2,000	250	
		実績	件	-	159	1,581	2,242	2300	
		達成率	%	-	31.8%	105.4%	140.1%		
家庭教育学級の参加者数	乳幼児・学童・思春期、家庭き教育学級・参加者数	目標	人	110	130	140	145	150	
		実績	人	100	120	119	125		
		達成率	%	-	109.1%	91.5%	89.3%		
				目標					
				実績					
				達成率	%				
				目標					
				実績					
				達成率	%				

指標の分析

子育てに関する相談件数は多いことが良いと言えず、逆に相談なしで親の役割を果たし子育てできることが望ましいですが、ちあぼーとの周知や潜在化していた子育ての悩みを放出できる場を提供していることが徐々に認知されてきており相談件数の増加に表れていると思います。また子育て中の親同士で問題解決やストレス発散などができる交流の場も増えており、子育てしやすい環境づくりも進んでいることもうかがえます。今後も、福祉部門で子育てサービスの充実を図るとともに、社会教育部門で親育ちの家庭教育の充実を図る必要があります。

<市民意識調査結果>

	領域名	必要度	満足度	
市民意識調査結果(H29調査)	検討領域	2.23	1.46	
	市民意識調査結果分析	<p>・平成29年度実施のアンケート結果では、「必要度」「満足度」ともに低く、「検討領域」に位置しており、施策や事業の内容について再考の余地があります。</p> <p>・平成29年度実施のアンケート結果では、「必要度」「満足度」ともに低く、「検討領域」に位置しており、施策や事業の内容について再考の余地があります。「必要度」「満足度」ともに低い状況を見ると親自身が家庭教育力向上の必要性への意識が低いことも懸念されます。</p>		

<次年度以降の課題>

平成30年度以降の課題	子育て支援センターちあぼーとを核とした子育て支援サービスの充実が図られていますが、一方で親としての心構えや養育方法・親子のコミュニケーションの未熟さに対する家庭教育(親育ち支援)が重要です。学力向上のためにも、早寝早起き朝ごはんなどの生活習慣の確立や家庭での学習習慣の定着を図る必要があります。家庭教育の充実が喫緊の課題と言えます、親力向上のための親育ちを支援することが重要です。
-------------	--

＜施策を構成する主な事務事業一覧表＞

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費（単位：千円）			課長評価	公 共 5 カ 年	他の 関連施策 コード
				H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 見込み			
1 家庭教育支援事業(子育て支援)臼杵	産後2ヶ月、生後2ヶ月の乳児から、親子で参加できる教室を実施し、産後のうつ発見や予防、子育てママのコミュニケーションを図ると同時に相談や支援を行います。また乳児期の親子で遊びを通じた親育て事業により家庭教育学級などを実施します。	社会教育課		1,184	1,545	1,974	重点化		V-12-26
2 家庭教育支援事業(子育て支援)野津	野津地域の幼稚園・保育園と連携しながら、乳児期の親子で遊びを通じた親育て事業により家庭教育学級などを実施します。	社会教育課		上記の予算に野津分を含む			—		V-12-26
3 自主サークルの推進	親子で参加した教室で知り合った親子が継続して子育ての喜びや悩み、不安を解消できるように、自主的に参加できるサークル活動を推進します。託児室を常時解放し、いつでも気軽に集まることのできる環境を整備しています。	社会教育課		—	—	—	—		V-12-26
4 子育て支援サークル支援	保育所や幼稚園、シルバー人材センターなど民間で実施する子育て支援のサークル活動を支援します。	子ども子育て課		120	120	120	—		V-12-26
5 子育て相談事業	妊娠期から18歳までの子どもに関する相談を実施します。	子ども子育て課		6,257	5,911	6,231	—		V-12-26
6 乳幼児教育基本方針策定及び周知	就学前までに育ってほしい子どもの姿と身につけてほしい子どもの力、そのための乳幼児期に大切な教育内容を明確に示しています。家庭教育を基本としながら幼保小・家庭・地域がつながって実現するための協議会を設置し周知していきます。	学校教育課・社会教育課・子ども子育て課		—	100	100	重点継続		V-12-26
7									
8									
9									
10									
合計				7,561	7,676	8,425			

＜施策の今後の展開 ～担当課長評価＞

進捗状況	「臼杵市家庭教育方針」「家庭教育10か条(ほっとさんの教え)」の周知・啓発に様々な取り組みを行っています。親育ちのための家庭教育学級の拡大や幅広い子育て世代に対応した学習会、相談の場を充実させる必要があります。子育て環境が変化中、子育てサービスの充実を図りながら、保護者の自信と生きる力を身につける子育てできる学びの場が必要です。協育コーディネーターが核になりながら、ちあぼーとや関係機関・保育所・幼稚園・学校・家庭・地域、と連携し、親育て・家庭教育支援を図る必要があります。	課長評価
順調		最重要施策であり、来年度強化する

＜施策の今後の展開 ～内部評価(内部検討会)＞

進捗状況	「臼杵市家庭教育方針」「家庭教育10か条(ほっとさんの教え)」の周知・啓発に様々な取り組みを行っています。親育ちのための家庭教育学級の拡大や幅広い子育て世代に対応した学習会、相談の場を充実させる必要があります。子育て環境が変化中、子育てサービスの充実を図りながら、保護者の自信と生きる力を身につける子育てできる学びの場が必要です。協育コーディネーターが核になりながら、ちあぼーとや関係機関・保育所・幼稚園・学校・家庭・地域、と連携し、親育て・家庭教育支援を図る必要があります。	内部評価
順調		最重要施策であり、来年度強化する

＜臼杵市行財政活性化推進委員会による外部評価：最終＞

	評価のコメント	外部評価
	相談窓口のPRを強化して、ちあぼーとと連携を図り、地域と協働で取り組むことが重要なため「強化」とする。	強化

＜臼杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組＞

協育コーディネーターを活用し、家庭、地域をつなぐことで、子育てに関するあらゆる相談や、つながりを深めています。また、ちあぼーともこれまで以上に連携を密にするとともに、学校やPTAにもさらに啓発を行っています。